

2021年11月8日

各 位

会社名 東京インキ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 堀川 聡
 (コード番号 4635 東証第2部)
 問合せ先 管理部門副部門長兼理財部長 中村 真次
 (TEL. 03-5902-7652)

2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月19日に公表いたしました2022年3月期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の連結業績予想値と本日公表の2022年3月期第2四半期連結決算の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想値と実績値との差異
 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 20,650	百万円 350	百万円 410	百万円 290	円 銭 110.55
実績値(B)	20,213	449	515	411	157.03
増減額(B-A)	△436	99	105	121	—
増減率(%)	△2.1%	28.3%	25.8%	42.0%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	17,776	△179	△14	△93	△35.49

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、インキ事業は、主力のオフセットインキが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により低迷していた折込チラシ等印刷物市況の一部回復、化成品事業は、自動車関連のマスターバッチや樹脂コンパウンドの需要回復、また加工品事業は、土木資材における災害復旧需要の一部高収益製品が堅調に推移したこと等により、売上高は前回予想より若干下回るものの、営業利益、経常利益は前回予想を上回りました。

加えて、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当社保有株式売却による投資有価証券売却益の計上や米国連結子会社における税金費用の見積額が前回予想時よりも減少したため、前回予想を上回ることになりました。

なお、2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回発表数値から変更はありませんが、現時点において、中国の電力不足や環境規制等による原材料供給懸念、高止まりが継続している原油価格による原材料価格の上昇、急激な為替相場の変動等の要因が、今後の当社事業環境において業績に影響を及ぼす可能性があります。当社業績に与える影響を慎重に見極める必要があることから、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

以 上